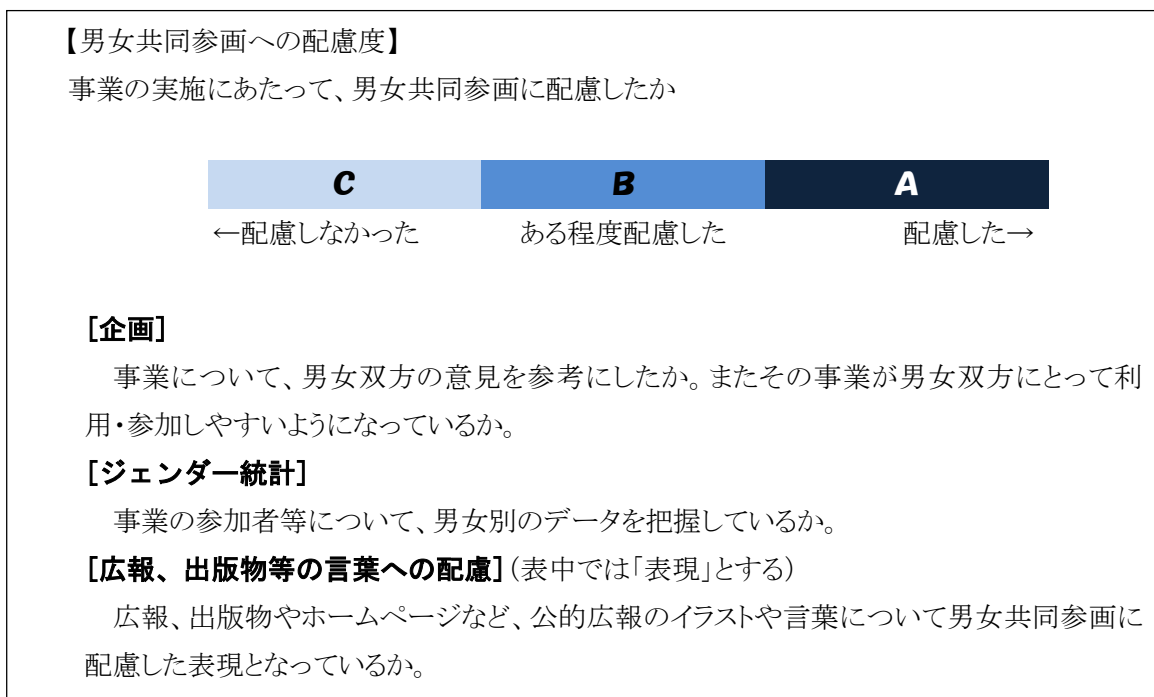
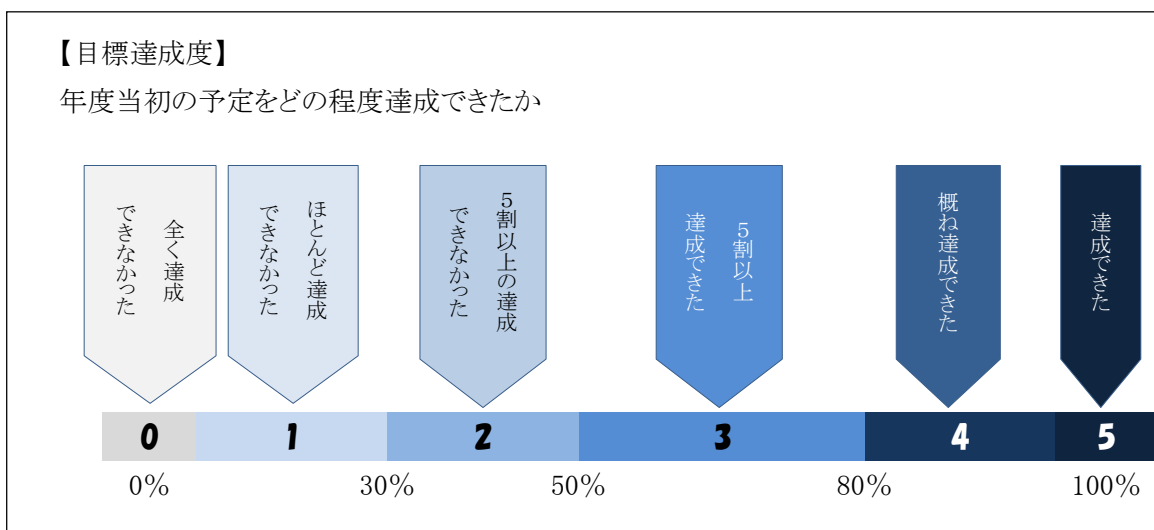


松山市男女共同参画事業実施計画報告書（平成28年度分）

～男女が力を合わせて「全国に誇れる松山」をつくろう～

男女共同参画社会の実現を目指す「松山市男女共同参画基本計画¹」を実効性あるものとするために、松山市では「松山市男女共同参画事業実施計画（以下、実施計画とする）」を策定しています。各事業を「目標達成度」と「男女共同参画への配慮度」から評価し、課題等を事業に反映させるためのフォローアップを行います。

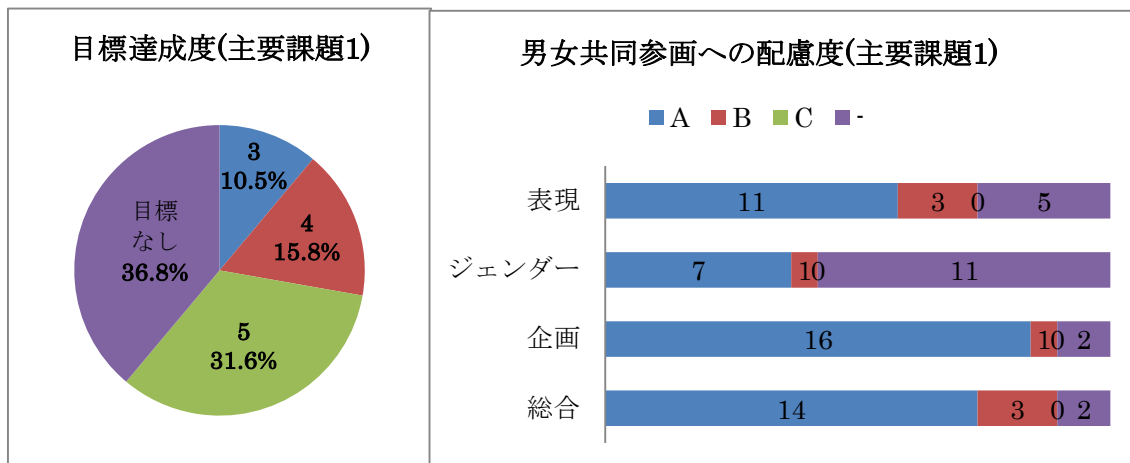


¹ 配偶者暴力防止法に基づく「松山市配偶者暴力防止基本計画」を含む計画です。

主要課題1 男女の人権の尊重

重点目標 ①男女間のあらゆる暴力の根絶 ②生涯を通じた男女の健康支援 ③メディアにおける男女の人権の尊重

主要課題1では、DV防止や被害者支援等19事業を実施しました。



(1) 目標達成度 平均4.3点 (5点満点)

DV

「DV被害者支援庁内連絡会議の運営」「DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用」等、数値目標設定になじまない事業もあるため「数値目標なし」もありますが、数値目標のある事業は昨年度と同様、達成度平均4.3点となり、ほぼ目標を達成しました。

27年度に引き続き、大学と連携したデートDV防止啓発活動を実施しました。学生から学生一人一人に手作りのパープルリボンを手渡し、デートDVの防止を訴えました。

DV等に関する相談窓口として、家庭・子育て相談室等を設置していますが、28年度の相談件数は493件でした。平成26年度605件、27年度558件と、相談件数に減少傾向が見られます。様々な機関で実施している相談窓口が広く周知されてきていることが原因の一つと考えられます。今後も、相談窓口での適切な対応を行うとともに、個別の事案に速やかに対応できるよう、関係機関及び部署との連携を深めていきます。

また、職員のDV等に対する意識を向上させるため、「女性に対する暴力をなくす運動」週間に庁内放送で周知を行ったり、DV被害者支援担当者の研修会も行っています。

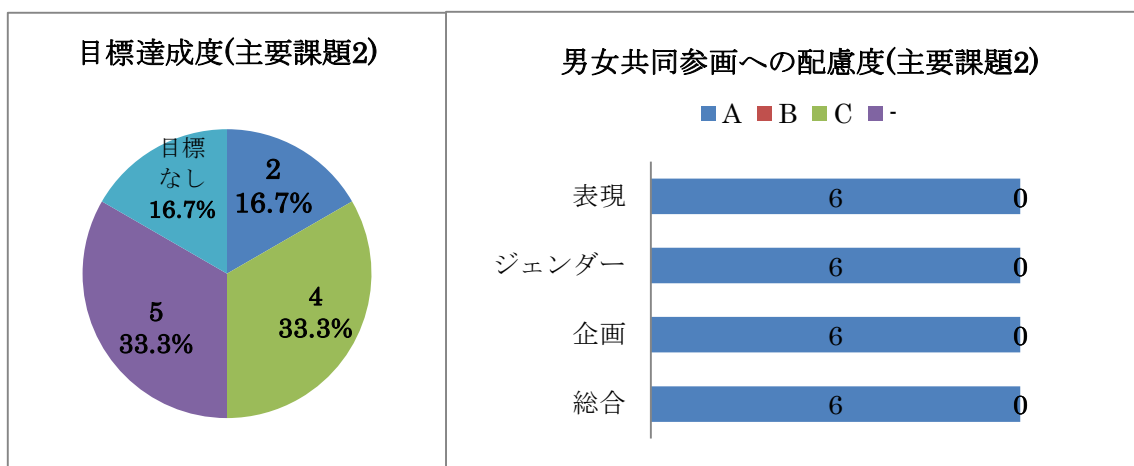
(2) 男女共同参画への配慮度 概ねA評価

「ジェンダー統計」は該当しないものもありましたが、その他の配慮に関して、多くがA評価で占められていました。平成26年度から引き続いて概ねA評価であり、今後も配慮すべき点を適宜検討しながら事業を実施します。

主要課題2：男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し

重点目標 ①社会における制度や慣行についての配慮 ②国際交流と国際協力の促進

主要課題2では、男女共同参画に関する啓発等6事業を実施しました。



(1) 目標達成度 平均4.0点(5点満点)

数値目標のない「男女共同参画に関する各種実態調査」がありますが、達成度は4~5点が過半数を占めており、平均点は4.0点で、ほぼ目標を達成しました。

「市民が主体となった男女共同参画の意識啓発」では、コムズフェスティバルで市民企画分科会を7企画実施し、昨年度同様、市民に分かりやすくするため企画を5つのテーマに分類したり、コラボ企画を推奨したりするなど団体の交流を深めるよう工夫しました。参加者は平成27年度に比べ減少していますが、テレビ等で取り上げられるなど、充実した内容で実施しました。今後も参加団体数や開催時間等を工夫し、さらに市民が参加しやすくなるように努めます。

また、市内41地区公民館等から推薦される人権啓発推進員について、平成27年度の719人から28年度817人に増加しており、各地域での人権教育推進と男女共同参画の意識の拡大が進められました。

(2) 男女共同参画への配慮度 すべての項目でA評価

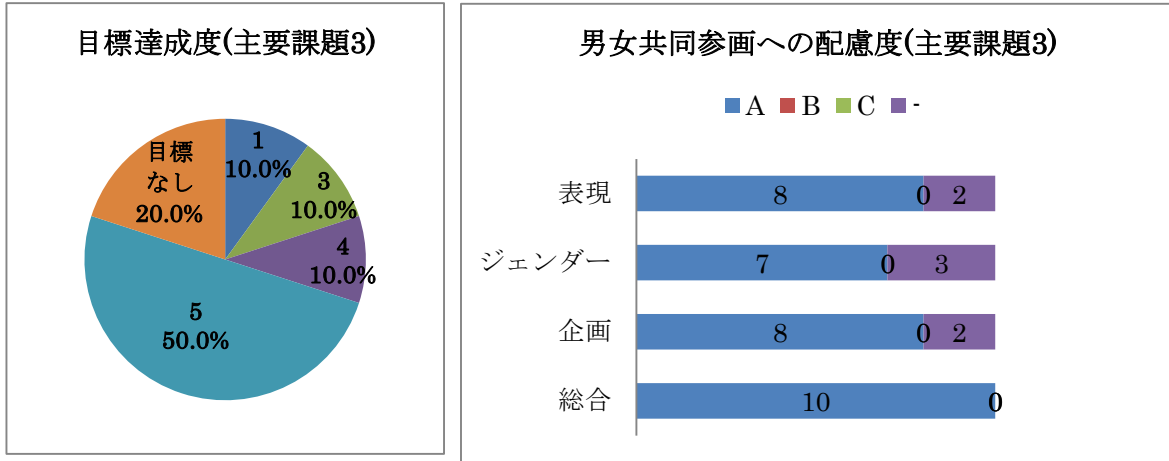
「表現」「ジェンダー統計」「企画」のすべての項目についてA評価でした。

平成26年度から28年度まで、すべての項目でA評価であり、男女共同参画の視点をもって事業が遂行されています。今後も引き続いて周知・啓発等の事業を実施します。

主要課題3：政策等の方針決定過程への女性の参画拡大

重点目標 ①市の政策・方針決定過程への女性の参画の拡大 ②地域・職場の方針決定過程への女性の参画の拡大

主要課題3では、女性の参画に関する10事業を実施しました。



(1) 目標達成度 平均 4.1 点 (5 点満点)

「人材育成に関する講座」について、講座の参加人数が目標に達しなかったこと等により、達成度が昨年度より下がる事業がありましたが、平均点は 4.1 点となり、ほぼ目標を達成しました。

「女性登用率の向上促進」では、「松山市審議会等の女性登用計画」で各審議会等担当課が女性登用率の自己目標を掲げて努力しましたが、目標 40.0%に対し、36.6%の実績（平成 29 年 4 月 1 日現在）となり、目標は達成できませんでした。しかし、計画策定時の平成 26 年度以降、着実に女性登用率は上昇しており、市の政策や方針決定過程の場に女性の意見が反映されてきていると言えます。まだ目標には届いていない状況ですが、今後も継続して女性の意見が反映できるよう取り組みを継続します。

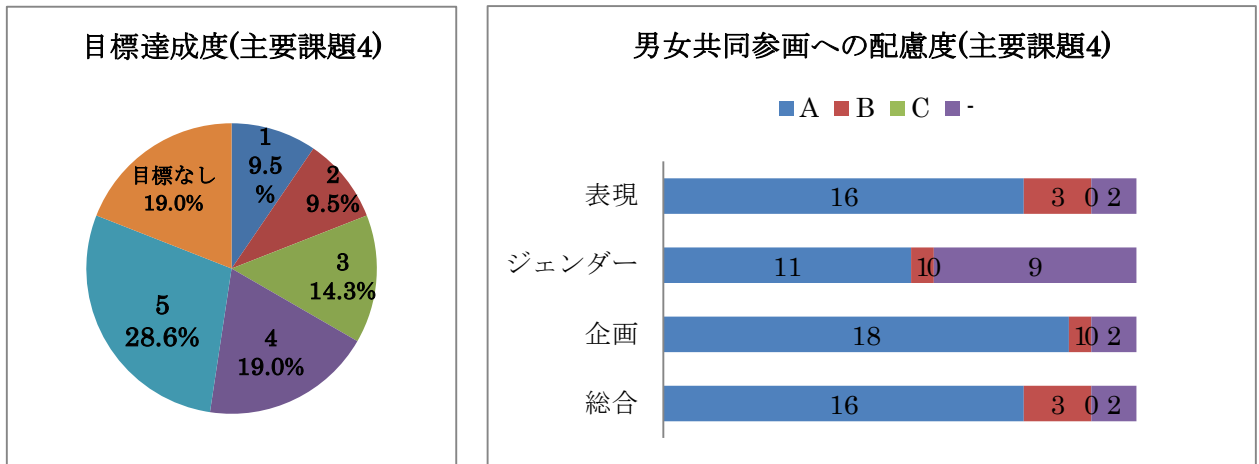
(2) 男女共同参画への配慮度 全て A 評価

「松山市における女性職員の職域拡大および管理職の登用促進」、「インターンシップ及び市役所業務説明会等」など、目標を設定できないものもありますが、その他全ての事業で A 評価となりました。

主要課題4：家庭生活における活動と他の活動の両立

重点目標 ①仕事と生活の調和の実現 ②地域における男女共同参画 ③高齢者等が安心して暮らせる条件の整備

主要課題4では、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等21事業を実施しました。



(1)目標達成度 平均 3.6 点 (5 点満点)

全21事業のうち、男女共同参画推進センターの「ワーク・ライフ・バランスの普及啓発（市民）」や「男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座」については、昨年度より講座の参加人数が少なくなり、全体の平均点は、3.6点でした。「ワーク・ライフ・バランスの普及啓発（市民）」では、対象者を絞り込んだため、参加人数は少なかったものの、参加者同士のつながりができるなど、有意義な講座となりました。「男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座」でも、参加者の満足度はとても高く、今後は実施日時や講座形式等に工夫を加えながら集客を増やせるように努めます。

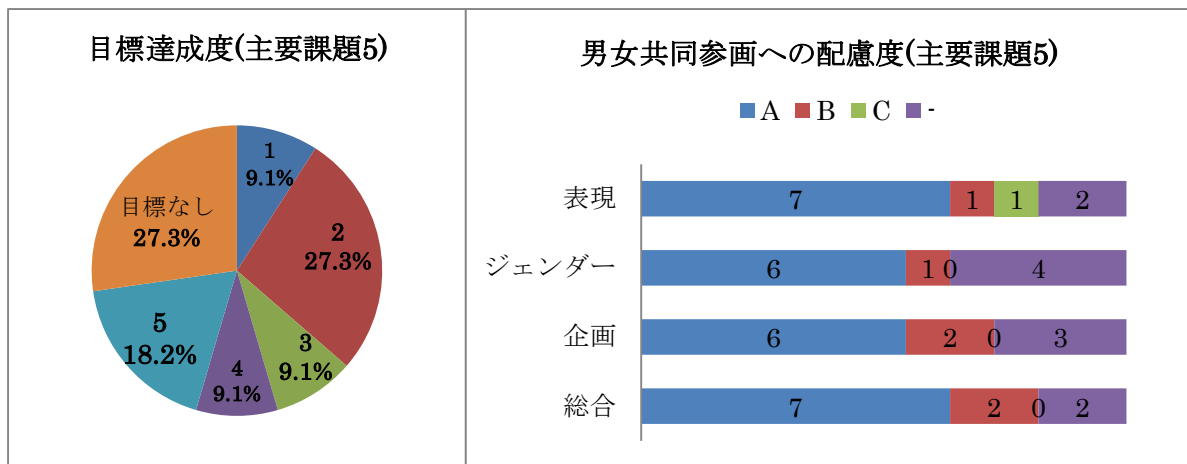
(2)男女共同参画への配慮度 概ねA評価

事業が終了した等で該当しないものもありましたが、多くの事業がA評価になりました。引き続き、男女共同参画に配慮した事業を実施します。

主要課題5：労働の分野における男女共同参画

重点目標 ①雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保 ②多様な働き方への条件整備
③農林水産業における男女共同参画の確立

主要課題5では、労働者、事業者等を対象とした11事業を実施しました。



(1)目標達成度 平均 3.0 点 (5 点満点)

「男女雇用機会均等法の周知・啓発」では、男女の働き方に関する現状等の周知や、働きやすい職場づくりの推進に向けてのチラシ配布など、積極的な周知啓発を行いました。主要課題別の平均では最も低い達成度となりました。

「ワーク・ライフ・バランスの普及啓発（企業・事業者・団体等）」では、派遣回数が増加したことから、出張講座の中でワーク・ライフ・バランスについて触れ、意識啓発に努めました。

引き続き周知方法や関係機関との連携に工夫をし、理解を深められるように努めます。

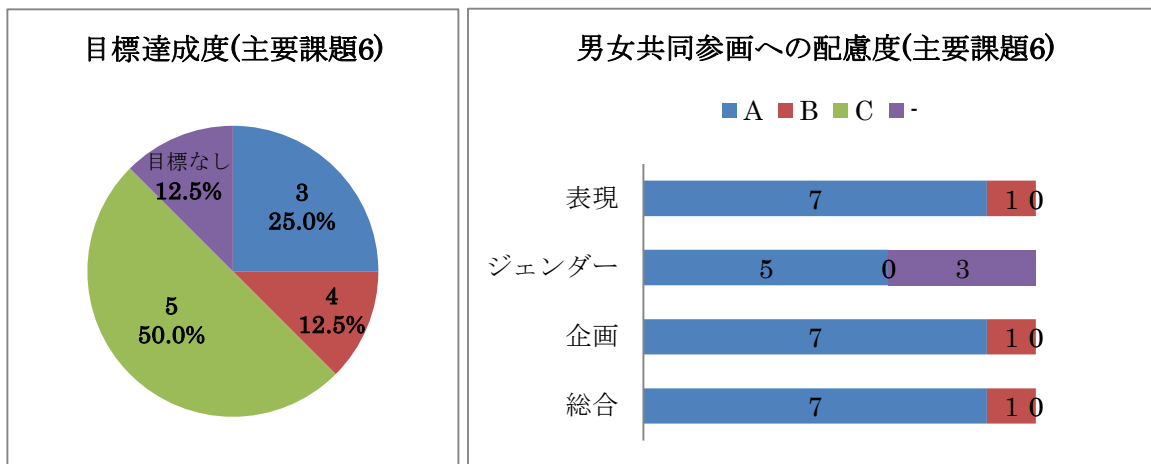
(2)男女共同参画への配慮度 概ねA評価

多くの事業が A 評価ではありますが、B、C 評価の事業も見られました。「雇用の促進」等の事業に対して、引き続き検討しつつ、配慮するよう周知啓発を行います。

主要課題6：教育の分野における男女共同参画

重点目標 ①男女共同参画を推進する教育・学習の充実 ②多様な選択を可能にする教育・学習の充実

主要課題6では、学校教育や子どもに関する8事業を実施しました。



(1) 目標達成度 平均 4.3 点 (5 点満点)

事業の半数が5の達成度であり、昨年度に引き続いて概ね目標を達成しました。子どもに対する人権啓発やキャリア教育支援など、男女共同参画社会を担う子どもたちへの事業は、重要なものであるため、引き続き教育の分野における充実も図ります。

(2) 男女共同参画への配慮度 1 事業をのぞいて全て A 評価

B評価は1事業で、その他は全てA評価でした。子どものうちから男女共同参画への意識啓発を行い、引き続き配慮を続けます。

統一事項

策定した目標に達しなかった事業もありますが、着実に毎年度成果を挙げている事業もみられ、今後も結果を踏まえながら、男女共同参画に配慮した事業を実施します。

実施計画に掲げた事業のみならず、本市の様々な事業の実施にあたっては、社会のニーズを正確に把握することに加え、男女共同参画の視点を忘れないことが非常に重要なポイントとなります。男女共同参画について意識した取り組みがなされるよう、その重要性について引き続き全庁的に周知啓発します。